

差出人： メールニュース／b-active 株式会社
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.036–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望される方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願いいたします。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

前回に続いて、コロナ禍での政府の「助成金や協力金に関して」一緒に考えていきたいと思います。

過去には自動改札やスイカ、今後の自動運転等の技術革新によって、一部の仕事は無くなる一方で、新しい役割や仕事が誕生。結果、働く人々はそちらに移動して行くことが求められます。昭和から平成、令和の産業構造変化が証明しています。

そして「新型コロナウイルスとの共存」という現実のもと、企業も個人もこの変化に適応していくことが求められます。例えば航空業界は、全世界的に大変厳しい状況に追い込まれてしまいました。渡航禁止という想定外の変化への適応です。

そこで航空業界で働く方々が、人材が不足している家電量販業界や通信業界、社に出向して働くということが起こります。それは期待とは違う仕事ではありますが、高い接客スキルを活かしつつ新たなキャリアを開発していく働き方です。

見方によっては、「かわいそう」というご意見もあると感じます。折角夢と希望を抱いて航空業界で活躍しようと努力し、やっと就職して目指すキャリアのスタートを切れたのに。何でまた家電量販店？神社？と「他人事」としての意見もあるでしょう。

しかし「当事者」となっている方たちの捉え方はどうでしょうか。いつから仕事が再開するかも分からずに、日々自宅待機で悶々と過ごす方のお気持ちは。将来に向けて大きな不安を抱く業界や企業にしがみつき、キャリア依存をし続けますか？

個人がキャリアを形成する上では、希望した業界や仕事と違っていても、強み・持ち味や自分らしさを発

揮できる「働く」機会があった方が、「働きがい」を得るチャンスも増えることで、成長できる喜びを感じるのではないかと思いますか。

「いつかコロナが消え去って、必ず元通りのノーマル生活に戻れるはず。」それとも「コロナと共に生活するニューノーマルを受け入れ適応する。」現実を見る限りでは、後者が濃厚でしょう。それは3蜜を避ける生活様式がノーマルになる時代です。

つまりコロナと共に生きる新しい社会生活の開始は、業界の淘汰による産業構造の変化を求めており、新たなキャリアの開発が必要な個人が大幅に増えるでしょう。そして、そこには飲食業界も含まれているかもしれません。

そのような中で政府は、当面の従業員の雇用を守るために日額上限 15,000 円に拡充した「雇用調整助成金」延長や、緊急事態宣言の発令に伴う時短要請に応じた飲食店に対する「協力金最大 1 ヶ月 180 万円」を設定しています。

ただ広い視点で見た場合、過去の延長線上で既存の産業構造を守り続けるような施策を継続するよりも、本来人材が必要な新たな産業に人材の流動を積極的に促し、働く方々の新たなキャリア形成支援に投資すべきではと考えます。

キャリアコンサルタントとして、「希望と違う新たなキャリアへの一步の踏み出し」をどのように支援しますか？
いつも皆さまのご意見ありがとうございます。今回もお待ちしております。

————— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ —————

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6 時間）は 3 月 7 日（日）

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6 時間）は 3 月 13 日（土）

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6 時間）は 3 月 14 日（日）

に開催します。お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 www.b-active.co

Copyright© 2020 b-active Inc.